只見のブナ巨木

第3回 只見の自然に学ぼう会

只見の植物と巨木

―奥深い自然に育まれた草木たち―

講師 刈屋 寿

profile

刈屋　寿・かりやひさし

弥彦山脈植物友の会会長、日本植物分類学会会員、日本巨樹巨木林の会会員、新潟植物同好じねんじょ会員。野生植物の分布調査で、日本全国の山野を踏査し、収集した標本は５万点にのぼる。
只見町史『自然編』と『会津只見の植物』の調査で８年間にわたり町内をくまなく歩き、1000種を越える植物を確認する。

とき 平成21年5月9日㊏
PM1:30～3:30

ところ 只見地区センター 視聴覚室

講師 刈屋 寿先生

主催 只見の自然に学ぶ会
http://www.fukosya.com/manabu.htm

後援 只見地区センター

只見の植物は、日本海側と太平洋側に分布する植物や、暖地に多い植物が混じっていることに特色があります。ユキツバキは日本海側に分布する植物で、只見川本流域に自生しています。ヤマナシの木として珍重されるオオウラジロノキやメグスリノキは、温かい地域に分布する植物で、伊南川右岸に分布しています。太平洋側の植物は、伊南川左岸に自生するなど興味深い分布をしています。
さらに、広大なブナの天然林をもつ只見町は、巨木ブナが多いことでも知られています。トチノキやクリの巨木も数多くあります。今回、このような只見の植生を学ぶことによって、その特色を再確認し、自然の保全と活用の一助とするために開催します。

お問い合わせ：只見の自然に学ぶ会事務局・渡部方 TEL.0241-82-3242